

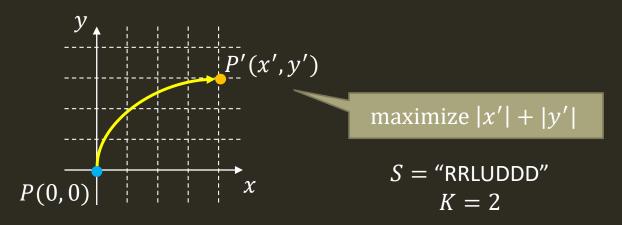
卒業式

原案/解説: yurahuna

テスター: TM, Yazaten, ixmel,

tubo28, yurahuna

問題概要



原点に点 P が置かれている

点 P を動かし, 原点からのマンハッタン距離を最大化したい

点の移動は文字列 S に従う ('U', 'L', 'D', 'R')

 s_i $(1 \le i \le |S|)$ を読み込む直前に魔法をかけるか否かを選択できる

- ・魔法 1 : 全ての s_i ($i \le j \le |S|$) に対し, 'U' を 'D' に, 'D' を 'U' に置換する.
- ・魔法 2 : 全ての s_j ($i \le j \le |S|$) に対し,'Ľ を 'R' に,'R' を 'L' に置換する. 「 ロ

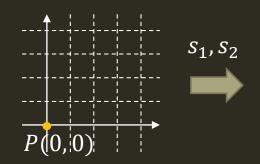
合計 *K* 回まで

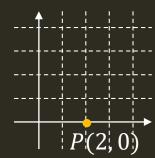
移動終了後の点Pについて,原点からのマンハッタン距離の最大値は?

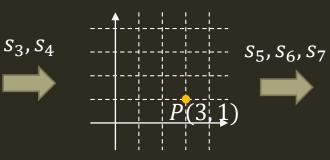
 $(1 \le \overline{|S|, K \le 2000})$

サンプル 1

原点からのマンハッ タン距離は 7









$$S = \text{"RRLUDDD"}$$

 $K = 2$

$$S = \text{"RRLUDDD"}$$

 $K = 2$





$$S = \text{"RRRUDDD"}$$

 $K = 1$

$$S = \text{"RRRUUUU"}$$

 $K = 0$

考察

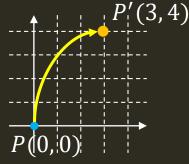
上下と左右は基本的には独立

- (魔法 1 の回数) + (魔法 2 の回数) ≤ K であればよい



上下と左右でわけて解く →結果をマージ





$$S = \text{"RRLUDDD"}$$

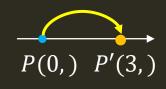
 $K = 2$

maximize |x'|

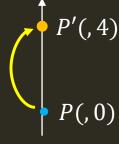




maximize |y'|



$$S_1 = \text{"RRL"}$$
$$0 \le K_1 \le K$$



$$S_2 = \text{"UDDD"}$$

 $0 \le K_2 \le K$

$$K_1 + K_2 \le K$$

|x'| の最大化

S から 'L', 'R' のみを抜き出したものを T とする |x'| が最大 ⇔ x' が最大 または x' が最小

x'の最大化: DP

- dpMaxX[i][j] = 文字列 T を i 文字目まで処理し,魔法を <math>j 回かけたときの x 座標の最大値
- 状態: O(|S|K) ($: 0 \le i \le |T| \le |S|, 0 \le j \le K$)
- 遷移: O(1) ($\because dpMaxX[i][j] \rightarrow dpMaxX[i+1][j], dpMaxX[i+1][j+1]$)
- →DPテーブルは O(|*S*|*K*) で構築可能
- x'の最小化も同様
- $dpMinX[i][j] = \cdots$

O(|S|K)

- └・ 同じ位置で魔法を 2 回以上かける必要はない
- 次の文字が置換されているか否かは j の偶奇 でわかる



dpAbsX[j] = T をすべて処理するまでに j 回魔法をかけたときの, |x'| の最大値 = $\max(dpMaxX[|T|][j], -dpMinX[|T|][j])$

O(K)

|x'| + |y'| の最大化

前頁と同様に,|y'|の最大化も計算できる $dpAbsY[j] = \cdots$



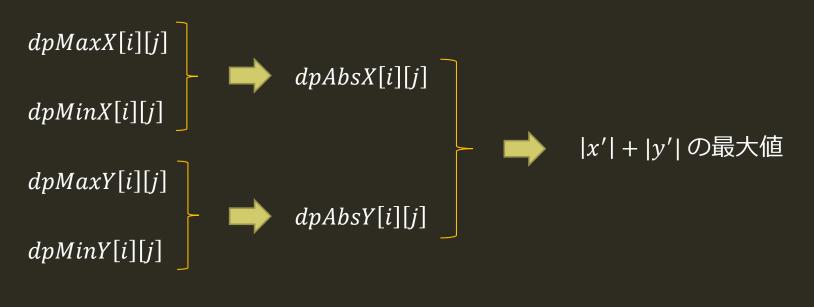
|x'| + |y'| の最大値 = $\max(dpAbsX[j_x] + dpAbsY[j_y]|j_x + j_y \le K)$ 0(

 $O(K^2)$

解法

O(|S|K)

左右と上下にわけて DP



O(K)

 $O(K^2)$

全体で $O(|S|K + K^2)$

統計

AC rate

19 / 27 (70.37 %)

First AC

• Online: dramenikia (61min)

• Onsite: dramenikia (61min)

ジャッジ解

TM	26 行 (C)

Yazaten 52 行 (C++)

ixmel 45 行 (C++)

tubo28 51 行 (C++)

yurahuna 58 行 (C++)